

子ども達に熱い指導！
バレーの技術と楽しさを伝える！

5月30日から31日にかけて、上ノ国町バレーボール連盟主催による「小中高バレーボール講習会」が町民体育館で開催され、近隣市町村から集まった約110人が指導を受けました。

この講習会、コーチに元JOC北海道選抜コーチの杉山哲平さんを招き、小学校から高校までの子ども達に広くバレーに親しんでもらうとともに、実践的な指導を行うことを目的に毎年開催されており、昨年全道優勝を果たした上ノ国中学校男子バレー部のメンバーも講習会で指導を受けていました。

会場では、礼節から技術指導、動きだしの速さを決める意識の改革など厳しい指導が行われ、参加した子ども達は、次の成長に繋がる手応えを感じている様子でした。



ウニ漁が始まる！
扇石から石崎に磯舟ずり！



5月24日、扇石地区から石崎地区の沿岸でウニ漁が始まりました。本町のウニ漁は、種苗放流や沖合に生息するウニを浅瀬に移植するなど、資源増大に取組みながら行われています。

近年の漁業は、漁船の燃料費の高騰から収益が圧迫されることが多くなっていますが、ウニ漁は磯舟で行われるため、燃料費が少なく済み、肉体的負担も少ないことから高齢の方でも続けることができる漁業形態です。

今年のウニは、実入りが良く、昨年のこの時期の出荷額を既に上回るなど好漁となっています。ウニ漁は8月頃まで続く予定です。

町内の消防団が集結
訓練で防火体制強化

6月14日、上ノ国町消防団全9分団と防火クラブ、消防署職員など103名の参加のもと、合同訓練が実施されました。

今年、町内で2件の火災が発生しており、いつ起こるかもしれない災害に対処できるように、会場では気の引き締まる空気の中で訓練が開始されました。

訓練内容にもある放水ホースの連結などは、先日の火災において各地区の分団が実際に行っており、こうした訓練が実際に進んでおり、こうした訓練がまちの安全に大きな役割を果たしています。

訓練に参加した団員は、今後も訓練の成果を活かして効率的な活動を心がけたいとのことでした。



仕事で感じた新たな刺激
将来に向けて職場体験学習



6月17日から18日にかけて、上ノ国高校2年生21人が町内14事業所で職場体験学習を行いました。

この体験学習は、町内外の事業所で仕事に触れることで、自分の将来について深く考える機会を得ることを目的に毎年行われているものです。

生徒たちは、2日間の日程で様々な仕事に触れ、「仕事をする上で、コミュニケーションが本場に大事だと知りました」「仕事を学ぶためには、自ら積極的に行動することが大切だと思いました」と話すなど、職場で感じた課題を今後に生かしていきたいとのことでした。